
令和元年度
職業訓練ニーズに関するアンケート
調査結果

岩手県地域訓練協議会事務局

岩手労働局職業安定部訓練室

(令和元年11月)

令和元年度 職業訓練ニーズに関するアンケート結果 目次

●概要	-----	P 2
●集計結果要約	-----	P 3
●企業調査		
回答企業の概況	-----	P 7
質問1 採用時に重視する点について	-----	P 9
質問2 パソコン技能について	-----	P10
質問3 パソコン技能以外に習得してほしい技能等について	-----	P10
質問3 公的職業訓練について	-----	P10
質問4 公的職業訓練のイメージについて	-----	P14
質問5 公的職業訓練の設定コースについて	-----	P15
質問6 公的職業訓練に対する意見・要望	-----	P18
前年度との比較	-----	P21
●求職者調査		
回答求職者の概況	-----	P27
質問1 希望する職種について	-----	P29
質問2 パソコン技能について	-----	P30
質問3 パソコン技能以外に習得したい技能等について	-----	P31
質問4 公的職業訓練について	-----	P32
質問5 公的職業訓練の受講について	-----	P33
質問6 公的職業訓練の受講期間について	-----	P36
質問7 公的職業訓練の設定コースについて	-----	P37
質問8 公的職業訓練に対する意見・要望	-----	P40
前年度との比較	-----	P43
●アンケート票		
企業用	-----	P49
求職者用	-----	P51

令和元年度 職業訓練ニーズに関するアンケート調査（概要）

岩手県地域訓練協議会事務局

（岩手労働局職業安定部訓練室）

■ 調査の目的

岩手における公的職業訓練（公共職業訓練及び求職者支援訓練）の総合的な訓練計画の策定に向けた基礎資料とするために、再就職を目指して求職活動をされている方や従業員の採用を予定されている企業の皆様を対象に職業訓練ニーズに関するアンケート調査を実施。

■ 調査対象者

- ・ハローワークに求人申込されている企業（求人予定も含む。）
- ・ハローワークに来所されている求職中の方

■ 調査方法

- ・ 県内のハローワーク（12か所）において、窓口に来所した企業及び求職者を対象にアンケート調査を実施。（各所において企業・求職者とも各100件（出張所は各50件）の回収を目標とした。）

■ 調査期間

- ・ 令和元年6月24日（月）～令和元年8月23日（金）

■ 回収件数

- ・ 企業 1,090件（社）
- ・ 求職者 1,339件（人）

安定所	盛岡	沼宮内	釜石	遠野	宮古	花巻	一関	水沢	北上	大船渡	二戸	久慈	計
企業	90	51	101	50	44	100	109	101	127	105	112	100	1,090
求職者	282	52	135	50	101	100	100	104	104	109	102	100	1,339

令和元年度『職業訓練に関するアンケート調査結果』（要約）

《企業調査》

質問1 採用時に重視する点（重視する順に3つ選択）

「熱意・意欲」を最も重視しており、全般的に例年と同じ傾向である。
（「熱意・意欲」は、複数回答計では調査開始以降6年連続1位、最も重視する点でも順を問う設問開始以降5年連続1位）

P9

質問2 採用時に習得しておいてほしいパソコン技能

例年と同様に「文書作成」が最も多く、次いで「表計算」となっている。
「CAD」と「プレゼンテーション資料作成」が増えている。

P10

質問3 パソコン以外に習得又は取得してほしい技能・資格（回答数10以上）

上位の資格を見ると「普通自動車免許」、「フォークリフト」、「介護職員初任者研修」は例年どおりだが、「大型自動車免許」が順位を下げ（昨年3位→6位）、「中型自動車免許」（昨年7位→3位）、玉掛け（昨年6位→5位）が順位を上げた。

P10

質問4

【4-1】 公的職業訓練の認知度

「知っている」：「知らない」の比率は概ね8：2であった。

P12

【4-2】 公的職業訓練をどのような方法・経路で知ったか

「ハローワーク」を通じての認知が6割弱であった。

P12

【4-3】 職業訓練の受講者を採用したことはあるか

「採用したことがある」が3割強、「ない」が5割弱であった。（不明との回答もあり）

P12

【4-4】職業訓練の受講者を採用した評価

「基本的なことは身に付いていたのでよかった」と「即戦力となった」が併せて8割弱と、概ね高評価の回答が多かった一方で、「必要とする知識や技能が不足していた」との回答も1割弱あった。

P13

なお、退職については、昨年度と同様に1年～3年で退職の者が3割強と最も多かったものの、昨年度と比較して約1割減少した。

質問5 公的職業訓練のイメージ

「基本的な能力の付与」が約5割弱と最も多く、次いで「資格の取得」、「即戦力となる人材の養成」と続き、概ね例年と同様の傾向となっている。

P14

質問6 公共職業訓練の設定コース

【6-1】役に立つと思う訓練コース

例年と同様に、「パソコン基礎」、「社会人スキル」、「経理・事務習得」が上位となっている。

P15

【6-2①】既存以外に必要と思う職業訓練又は既存のコースに加えた方が良く と思うカリキュラム〔同内容の回答で複数あったもの〕

「CAD（回答数4）」、「安全・衛生に関する教育（4）」、「社会保険労務士資格取得に向けたコース（3）」、「測量技術者養成（3）」、「特殊車両の運転資格（3）」等。

P16

【6-2②新設】高齢労働力の活用に向けて必要と思う職業訓練やカリキュラム、意見〔同内容の回答で複数あったもの〕

（少数意見多数のため省略。）

P17

質問7 意見・要望〔同内容の回答で複数あったもの〕

（少数意見多数のため省略。）

P18

《求職者調査》

質問1 希望する職種

例年の傾向であるが全数では「一般事務」が突出して多い。
希望職種を無回答としたのは、第一希望が3.1%、第二希望が29.9%、
第三希望が54.3%となっており、希望職種を限定している方が多い傾向が
窺われる。(例えば「事務以外は希望しない」など)

P29

質問2 就職までに習得したいパソコン技能

例年と同じく「表計算」、「文書作成」、「特になし」が上位に来ているが、
昨年は「表計算」、「文書作成」が微増し、「特になし」が微減した。

P30

質問3 パソコン以外に習得又は取得したい技能・資格

簿記(27)、医療事務(26)、フォークリフト(25)、介護(19)、
調理師(13)、経理(8)、重機(6)、大型特殊(5)、玉掛け(5)、
危険物乙種4類(5)、簿記2級(5)

※ 5人以上の回答があったもの

P31

質問4 公的職業訓練の認知度

昨年度と同様、約2割の方が「知らない」と回答。

P32

質問5 公的職業訓練の受講

【5-1】機会があれば受講したいと思うか

昨年度と大きな変化はなく「希望する」は1.7ポイント増、「どちらとも
いえない」は0.3ポイント減でともに約4割となっている。

P33

【5-2】「希望しない」「どちらともいえない」とした理由

昨年度と同様に「すぐ就職したい」が約4割と最も多く、次いで「受講後
の効果が分からない」、「受講したいコースが無い」と続いている。

P33

【5-3】受講する場合、条件・環境で備わっていれば良いと思うこと

「安い受講費用」、「自宅から近い訓練場所」、「生活保障」の順で上位を占めているが、「託児サービス」は前回の12.8%から今回は2.7%と10.1ポイントも大幅に減少した。

P34

質問6 公的職業訓練の受講期間はどの位が適当か

例年と同様に通常の訓練期間である「3ヶ月」が最も多く、1年以上の長期間になると大幅に少なくなっている。

P36

質問7 公的職業訓練の設定コース

【7-1】受講してみたい訓練コース

全般的に例年の傾向と同様であるが、「パソコン系」、「事務系」が上位となっている一方で、企業調査では上位の「社会人スキル」は求職者調査では下位となっている。

P37

【7-2①】新たに必要なコース、既存コースに追加した方が良いカリキュラム

「保育」、「英語」、「語学」、「ネイリスト」、「動画作成・編集」、「アロマセラピー」、「ペット・動物関係」、「一般常識・マナー」、「農業」などが複数回答となっている。

P38

【7-2②】高齢労働力の活用に向けて必要と思う訓練やカリキュラム、意見

(少数意見多数のため省略。)

P39

質問8 意見・要望

(少数意見多数のため省略。)

P40